

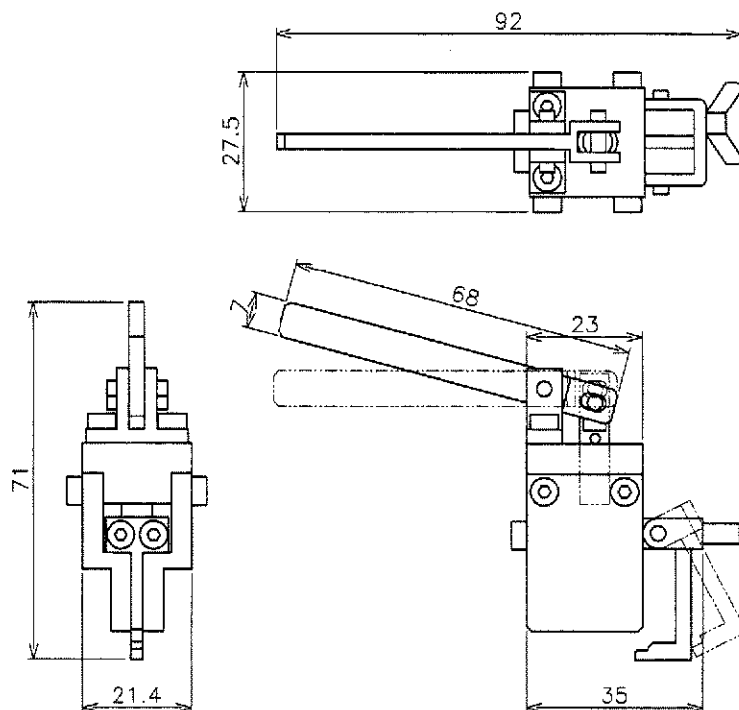


Fig.1 工具外観イメージ

1. はじめに

この取扱説明書は HM-Zd リセ型コネクタを列単位で引抜く為の引抜工具(工具型番: 1596027-1)の取り扱いについて記述するものです。

作業の前に必ずお読み下さい。

2. 適用製品

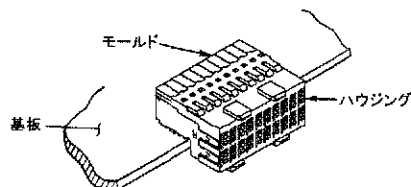
適用コネクタ: HM-Zd receptacle type connector (P/N 1469001-1; 1469069-1)

3. 工具外形寸法と重量

- 外形寸法: 92(W) × 27.5(D) × 71(H)
- 重量: 約 0.35 kg

4. 作業上の注意

(1) 本工具を使用する前に、必ずコネクタのハウジング部を取外して下さい。



(2) コネクタのモールド部を抜く際に、基板の受け台はお客様にてご用意下さい。

(3) 工具を落としたり、ぶつけたりして変形させないように慎重に取り扱って下さい。

5. 作業前の準備

5-1. コネクタのハウジング部取外し手順

本引抜工具にてコネクタのモールド部を取外す前に、下記の手順でコネクタのハウジング部を取外して下さい。(Fig.2を参照)

(1)先端がφ0.7mmの押し工具(0.3mmのシャーペンなど)または0.9×0.7mmの押し工具を用意します。

注記)押し工具はお客様にてご用意下さい。

(2)押し工具の先端をハウジングの長方形の穴に垂直に差込み、更に押します。

注記)この時、'プチッ'という音がすると、穴の中にあるモールドのロックキーが外され、ロックが解除されます。

(3)手順(2)を繰り返し、ハウジング上全ての穴の中にあるロックキー(計10ヶ所)を順番ずつ外します。

(4)片手で基板を保持しながら、他方の手でハウジングを横に引っ張り、コネクタのモールド部から引離します。

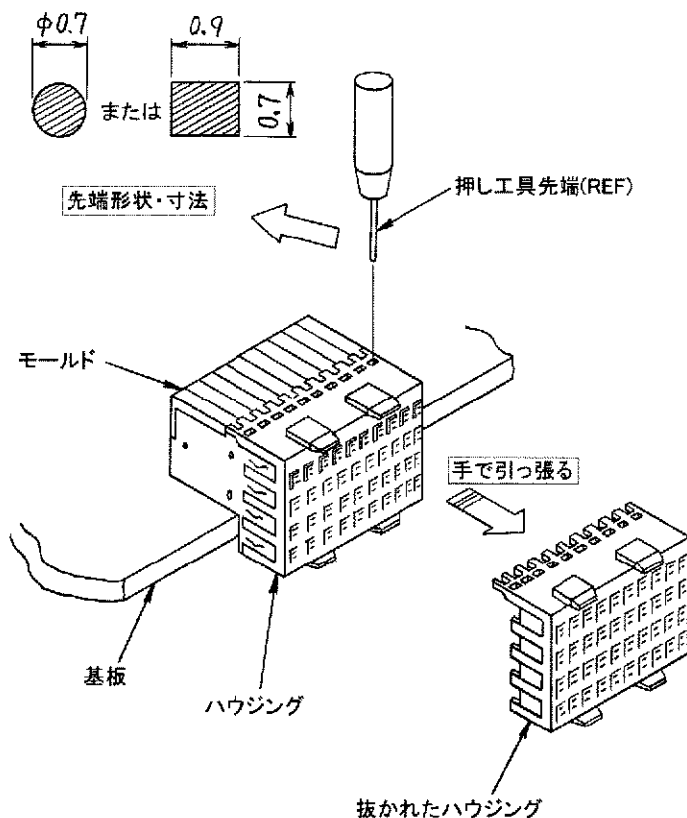


Fig.2 コネクタのハウジング部取外しイメージ図

5-2. コネクタの実装配置による工具の調整

抜きたいコネクタのハウジング部分を引抜いた後、コネクタの実装配置のパターンにより、工具の調整が必要になります。

● コネクタの実装配置のパターン

コネクタの実装配置のパターンはFig.3に示されているように7種類があり、引抜工具の両側に取り付けられているガイドブロックをそれぞれのパターンに応じて図示の様に取付け直して下さい。

注記) ガイドブロックを取付ける際、同部品に貼ってあるウレタンゴムの面が下にある様にして下さい。

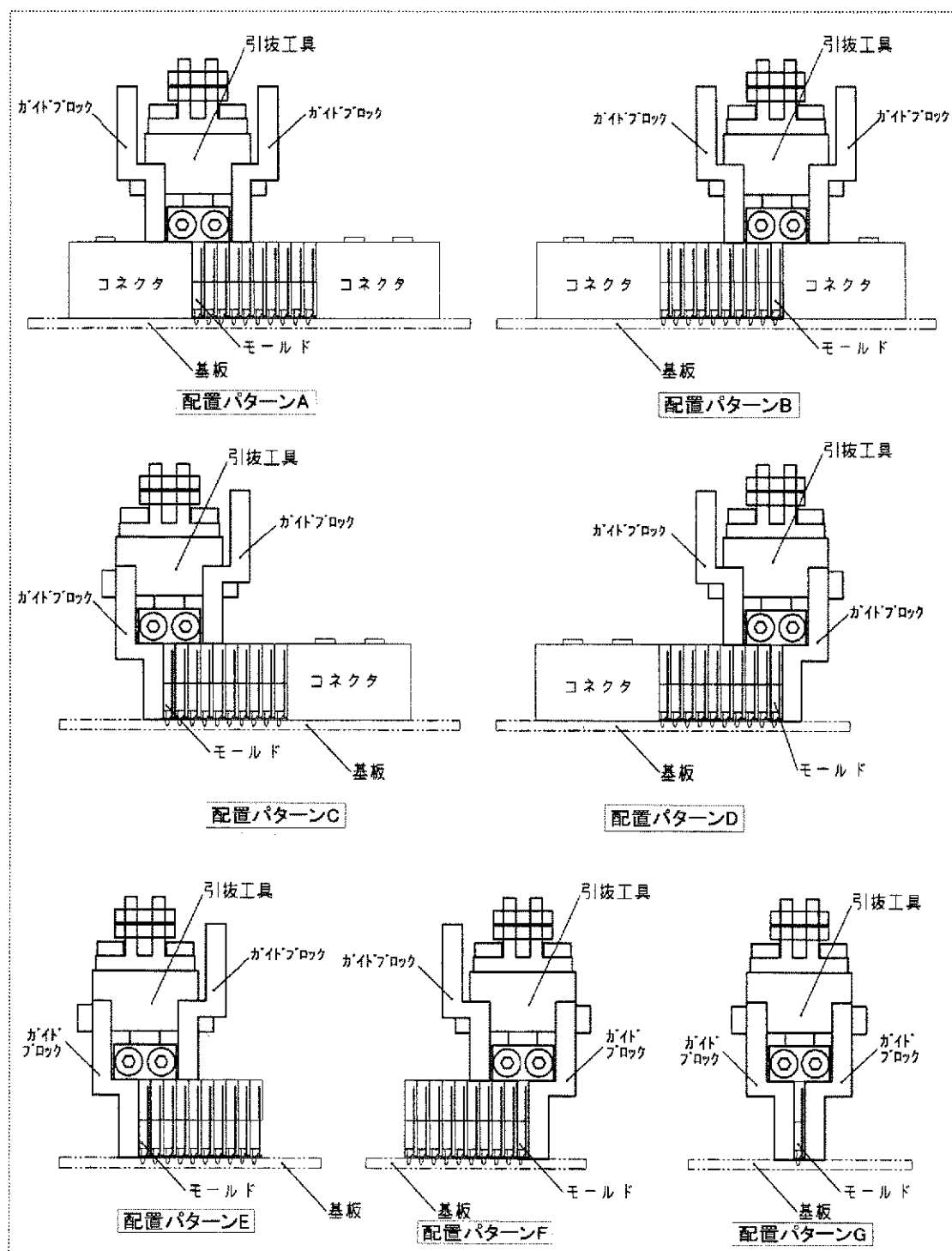


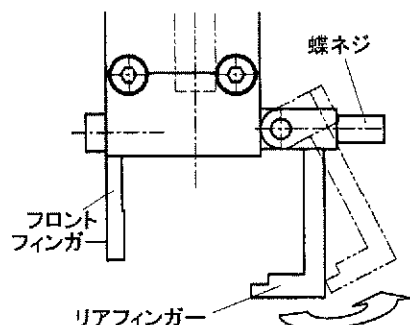
Fig.3 コネクタの実装配置パターン

6. 抜き作業の方法

ア. コネクタの実装配置パターン A;B の場合

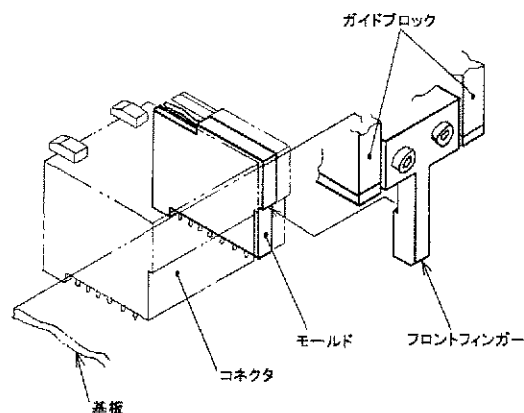
Fig.3 の示したコネクタの配置パターン A か B の場合は、下記の手順にてコネクタを列単位(モールド単位)で引抜いて下さい。

- (1) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、工具が抜きたいモールドにセットできる様にリアフィンガーを広げます。

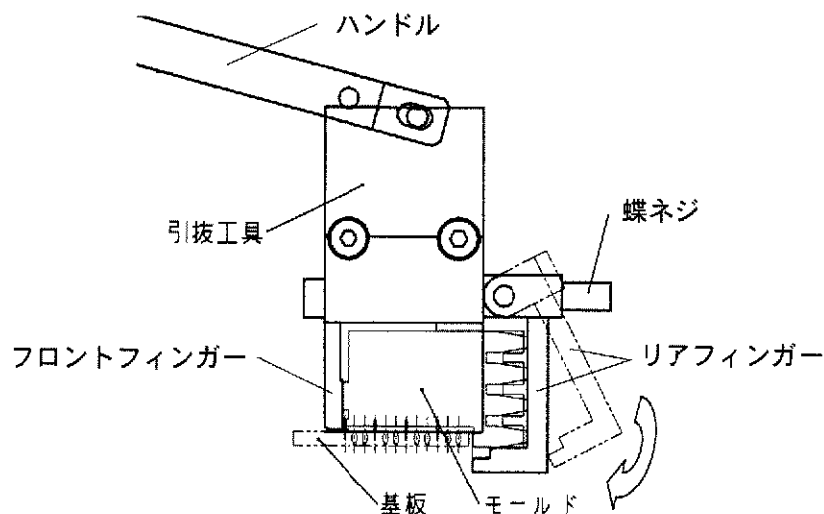


- (2) リアフィンガーを広げたままで、工具の前面にあるフロントフィンガーを抜きたいモールドに合わせ、工具を上からセットします。

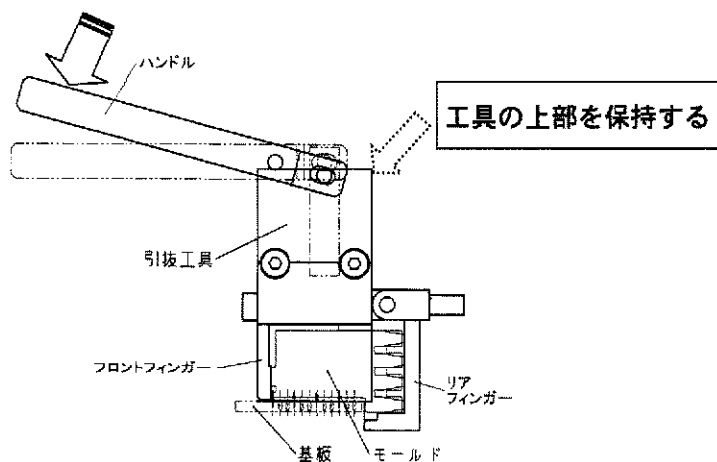
注記) この時、工具のハンドルを上がった状態に保ってください



- (3) 工具を垂直に保持しながら、リアフィンガーを戻し、蝶ネジを締めます。



- (4) 片手で工具の上部を保持しながら、他方の手で工具のハンドルを押すと、1 枚のモールドが抜かれます。



- (5) 抜かれたモールドが入ったまま、工具をまっすぐ上に引き、コネクタから離します。

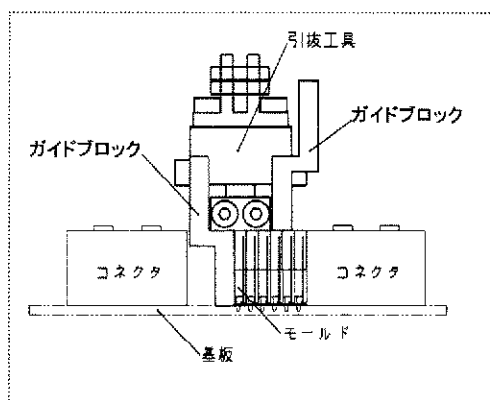
- (6) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、モールドを取外します。

- (7) 手順(2)～(6)繰り返して作業すると、次のモールドを抜くことができます。

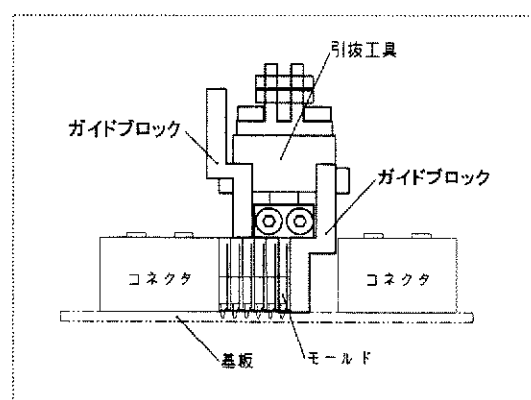
注記)コネクタ配置パターン A の場合は、モールドを左から順番に引抜いて下さい。

コネクタ配置パターン B の場合は、モールドを右から順番に引抜いて下さい。

- (8) 4 枚のモールドを引き抜いた後、図示の様に工具の両側に取り付けられているガイドブロックの片方を取付け直します。



配置パターン A の場合ア



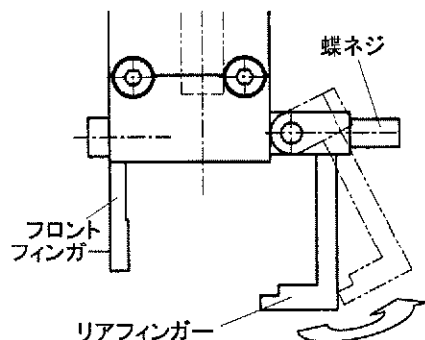
配置パターン B の場合ア

- (9) コネクタの配置パターン C か D の場合の抜き作業手順を行うと、残りのモールドを抜くことができます。

イ. コネクタの実装配置パターン C;D の場合

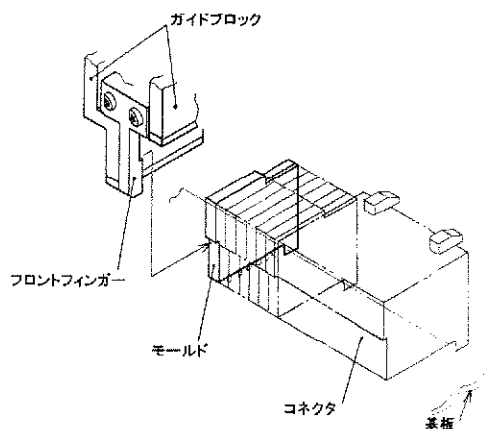
Fig.3 の示したコネクタの配置パターン C か D の場合は、下記の手順にてコネクタを列単位(モールド単位)で引抜いて下さい。

- (1) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、工具が抜きたいモールドにセットできる様にリアフィンガーを広げます。

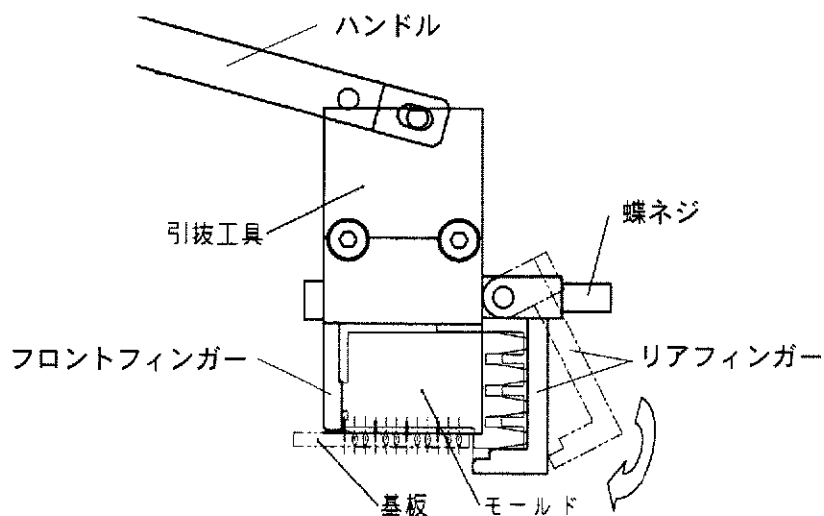


- (2) リアフィンガーを広げたままで、工具の前面にあるフロントフィンガーを抜きたいモールドに合わせます。

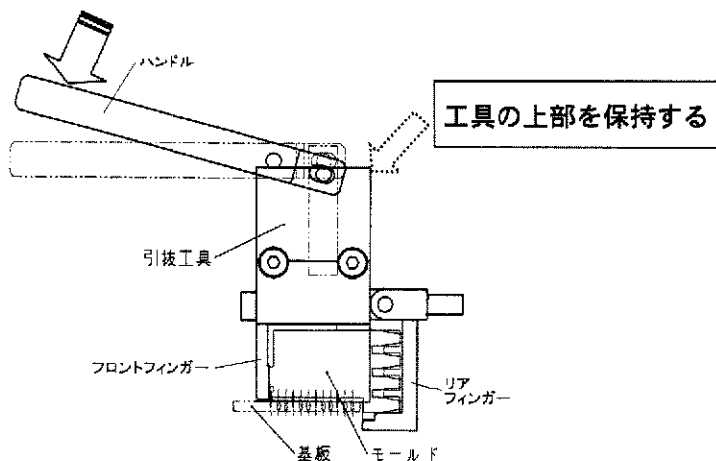
注記) この時、位置が下にあるガイドブロックの内面を抜きたいモールドに突き当たるようにセットして下さい。



- (3) 工具を垂直に保持しながら、リアフィンガーを戻し、蝶ネジを締めます。



- (4) 片手で工具の上部を押えながら、他方の手で工具のハンドルを押すと、1 枚のモールドが抜かれます。



- (5) 抜かれたモールドが入ったまま、工具をまっすぐ上に引き、コネクタから離します。

- (6) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、モールドを取外します。

- (7) 手順(2)～(6)繰り返して作業すると、次のモールドを抜くことができます。

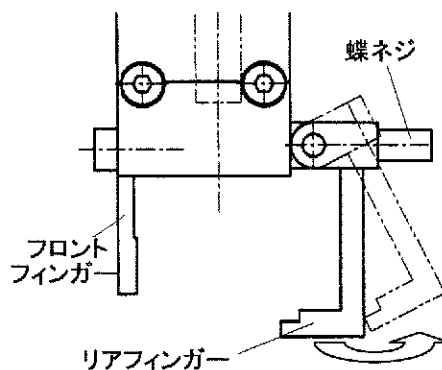
注記)コネクタ配置パターン C の場合は、モールドを左から順番に引抜いて下さい。

コネクタ配置パターン D の場合は、モールドを右から順番に引抜いて下さい。

ウ. コネクタの実装配置パターン E;F の場合

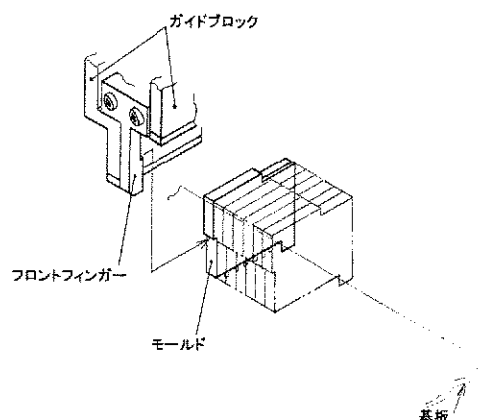
Fig.3 の示したコネクタの配置パターン E か F の場合は、下記の手順にてコネクタを列単位(モールド単位)で引抜いて下さい。

- (1) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、工具が抜きたいモールドにセットできる様にリアフィンガーを広げます。

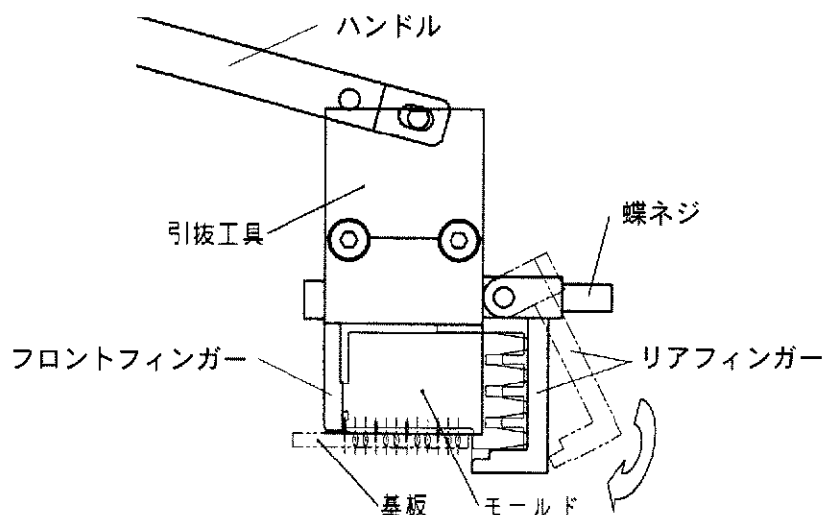


- (2) リアフィンガーを広げたままで、工具の前面にあるフロントフィンガーを抜きたいモールドに合わせます。

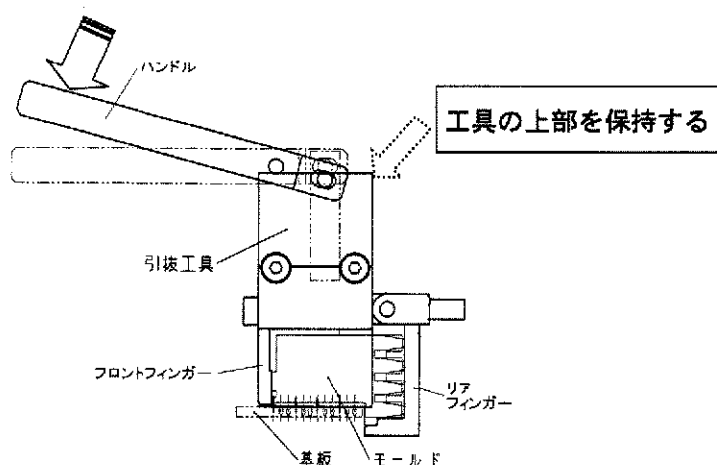
注記) この時、位置が下にあるガイドブロックの内面を抜きたいモールドに突き当たるようにセットして下さい。



- (3) 工具を垂直に保持しながら、リアフィンガーを戻し、蝶ネジを締めます。



- (4) 片手で工具の上部を押えながら、他方の手で工具のハンドルを押すと、1 枚のモールドが抜かれます。



- (5) 抜かれたモールドが入ったまま、工具をまっすぐ上に引き、コネクタから離します。

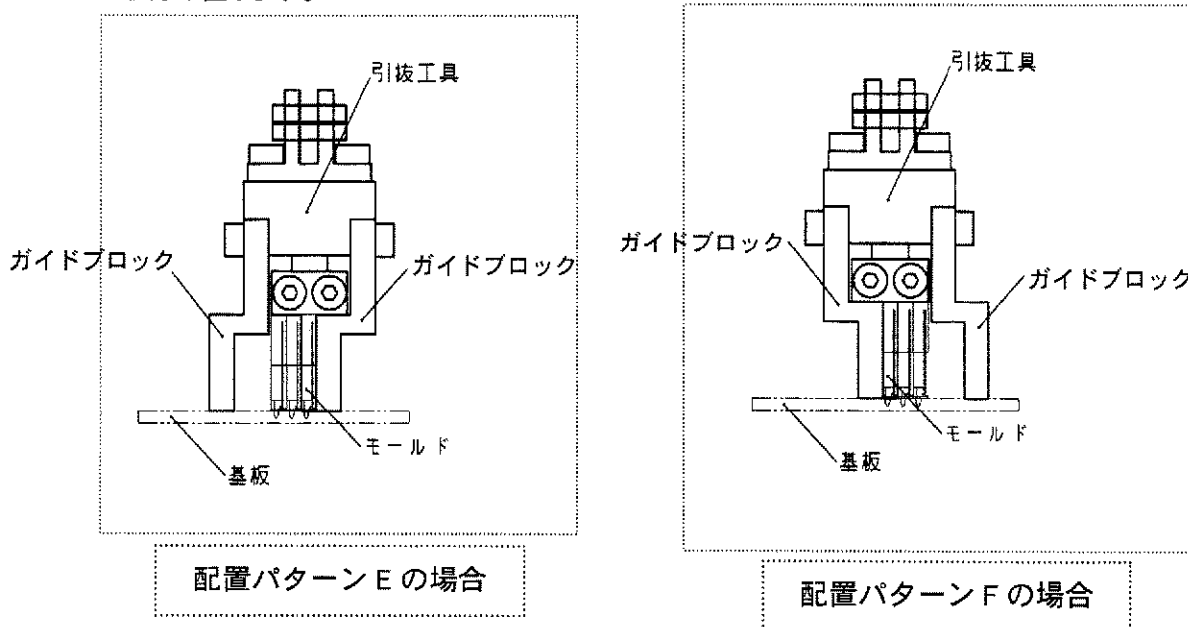
- (6) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、モールドを取外します。

- (7) 手順(2)～(6)繰り返して作業すると、次のモールドを抜くことができます。

注記)コネクタ配置パターン E の場合は、モールドを左から順番に引抜いて下さい。

コネクタ配置パターン F の場合は、モールドを右から順番に引抜いて下さい。

- (8) 7枚のモールドを引き抜いた後、図示の様に工具の両側に取り付けられているガイドブロックを取付け直します。



- (9) 手順(2)～(6)繰り返して作業すると、残りのモールドを抜くことができます。

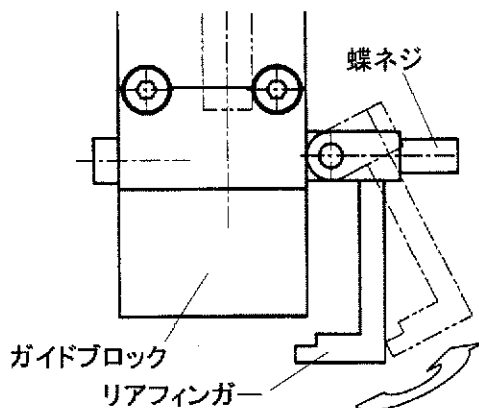
注記)コネクタ配置パターン E の場合は、残りのモールドを右から順番に引抜いて下さい。

コネクタ配置パターン F の場合は、残りのモールドを左から順番に引抜いて下さい。

エ. コネクタの実装配置パターン G の場合

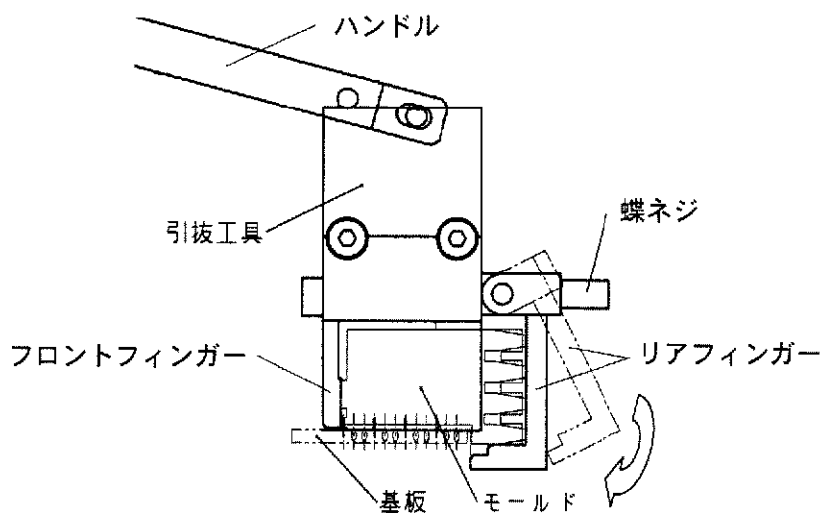
Fig.3 の示したコネクタの配置パターン G の場合は、下記の手順にてコネクタを列単位(モールド単位)で引抜いて下さい。

(1) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、リアフィンガーを広げます。



(2) リアフィンガーを広げたままで、工具を上からモールドに嵌め込みます。

(3) 工具を垂直に保持しながら、リアフィンガーを戻し、蝶ネジを締めます。



(4) 片手で工具の上部を押えながら、他方の手で工具のハンドルを押すと、モールドが抜かれます。

(5) 抜かれたモールドが入ったまま、工具をまっすぐ上に引き、コネクタから離します。

(6) 引抜工具後部にある蝶ネジを緩め、モールドを取外します。

7. 保守と点検

- (1) 本工具を使用しない時は乾燥したきれいな場所に保管して下さい。
- (2) 本工具を使用する前に、部品の破損やネジの緩みがあるかどうか確認して下さい。
破損している場合は、新しい部品と交換して下さい。
- (3) 本工具を使用する前に、ゴミ等が付いていないか確認して下さい。

尚、本工具や部品等のご用命は弊社最寄りの営業にお問合せ下さい。